

平成 30 年 10 月 31 日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目 1 2 番 5 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 杉野 文則

(東証JASDAQ : 4316)

問合せ先 : 取締役経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5297-2181)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 11 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	550	△20	△20	△20	△6 円 22 銭
今回修正予想 (B)	509	△60	△60	△64	△19 円 85 銭
増減額 (B - A)	△41	△40	△40	△44	—
増減率 (%)	15.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	604	△22	△22	△22	△6 円 96 銭

2. 修正理由

現時点における決算集計並びに事業進捗状況等を踏まえて、第 2 四半期連結累計期間 (以下「中間期」) の連結業績予想を修正するものであります。

当中間期におきましては、各事業分野とも当初予定の売上高を下回り、販売費および一般管理費の増加もあり損失を計上する見込みです。ナビゲーション事業分野については売上高が前期を上回ったものの、ワイヤレス・イノベーション事業分野、ソリューション事業分野とも売上高が前期を下回る見込みです。

前期においては、第 2 四半期におけるワイヤレス・イノベーション事業での大型案件計上に伴う売上増とソリューション事業における不採算案件の影響を受けておりましたが、当期の受注状況は例年にも増して第 3・第 4 四半期に売上・利益とも集中する見込みとなっております。このため当初中間期までに想定していた売上高が不足することとなり、新株予約権発行・人員増等により販売費および一般管理費が増加したことも影響し、営業損失が拡大する見込みです。

第 3 四半期以降は、引き続き各事業分野での受注・売上の獲得、特にソリューション事業分野における 02020 (OnAir to Online to Offline) 事業の拡大に注力し、成果を上げるべく取り組んでまいります。

各事業分野の中間期での状況は以下の通りとなる見込みです。

なお、各事業分野のセグメント損益は、全社費用49百万円（見込み）（前年同期実績45百万円）を含まない額であります。

ナビゲーション事業分野については、えきねっと等への時刻表・経路探索技術の提供や交通費精算システム「transit manager」等の運用案件に取り組み、計画は下回ったものの前期を若干上回る売上高となる見込みですが、全社的な販管費の増加に伴い増収減益となる見込みです。中間期の売上高は76百万円（前年同期実績73百万円）、セグメント利益は10百万円（前年同期実績15百万円）の見込みです。

ワイヤレス・イノベーション事業分野については、保守運用案件・IgniteNET等の販売については予定通り進捗しましたが、新規構築案件・開発案件については予定を下回り、減収減益となる見込みです。中間期の売上高は341百万円（前年同期実績414百万円）、セグメント利益は21百万円（前年同期実績73百万円）の見込みです。

ソリューション事業分野については、02020サービス・MMSサービスへの注力を進め実績作りに取り組みましたが、大型案件としては第3四半期以降の計上を予定しております。不採算案件の削減により減収となる見込みですが収支は若干改善する見込みです。中間期の売上高は91百万円（前年同期実績116百万円）、セグメント損失は41百万円（前年同期実績66百万円）の見込みです。

3. 今後の見通し

通期の業績予想につきましては、今回見直しは行っておりませんが、今後、変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

ナビゲーション事業分野、ワイヤレス・イノベーション事業分野においては、受注環境が良好であり、現時点で前期並みもしくは前期を上回る受注をいただいております。今後は着実に売上計上と開発・運用の効率化による利益の拡大を図ります。残るソリューション事業分野においても、注力中の02020、MMSなどのサービスが順次展開される見通しであることから、当社グループ全体の損益が改善し、第4四半期において黒字回復する見通しです。今後、人員の成長分野へのシフトとともに固定費の削減に努めることで、通期での業績予想達成を目指します。

(注) 上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成31年3月期第2四半期決算短信につきましては、平成30年11月2日に発表する予定です。

以 上